

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.11.5a	システムリカバリ	機能追加	2016年度上期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 上、特上	ー	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	瞬間復元ドライバ	制限解除	Windows 10 のコンパクトOS環境での瞬間復元に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	ー	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイル・フォルダ単位の修復モード中に、修復対象にしたFAT32のドライブ上でVisualStudio2010のVBのプロジェクトを作成し保存する、またはビルドすると0x23のSTOPエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	NTFSのドライブにプロジェクトの作成を行ってください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがをインストールした32ビットのUEFIのPCでは、修復モードの状態にすると、OS起動直前の1～2秒の間、画面左上に瞬間復元ドライバのデバッグ用文字列が表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイル・フォルダ単位の修復モード中にPhotoshopで画像ファイルの保存を行うと、数回に1回程度の確率で、保存したファイルのアイコンが表示されないことがある。 この場合も、保存処理自体は行われており、F5キーを押すことでアイコンが表示されるようになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	エフセキュアのパターンファイルの情報取得処理がタイムアウトで失敗する場合がある。	タイムアウト時間を1秒から3秒に延長しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	スケジューラ	スケジューラ機能によるログオン処理のスケジュールでは、ドメインへのログオンが指定できない。	ドメインへログオンできるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	Windows Vista にて複数PC操作のレイアウト編集を実施した際、各クライアントをレイアウト編集画面で選択することはできるが、ドラッグアンドドロップで位置を変更することができない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集機能	利用情報収集機能の稼働チャートで、電源ON/ログオン/ログオフ/電源OFFを繰り返しているにもかかわらずPCがログオンし続けている状態で見えてしまう場合がある。	強制電源断など、PCの電源OFFが正しく検知できなかった場合は、その際の電源ON～電源OFFまでを稼働チャートに表示させないように改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	サーバ機能	瞬快サーバを版数アップした後にエクスポートしたデータを、新規インストールした瞬快サーバへインポートさせた場合に、瞬快サーバの版数は同じであってもデータが正しくインポートできない場合がある。	瞬快サーバを版数アップした場合と新規インストールした場合で、データの構造が同じになるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	クライアントPCのリモート登録(手動登録)では、コンピュータ名の先頭文字に数字が使えない。	コンピュータ名の先頭文字に数字を使えるようにしました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリの実行結果ログの[CSV出力]を行うと、以下のエラーが発生する場合がある。 SRO00040 (X) ファイルへの書き込みができませんでした。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 上、特上	なし	
	ツール	瞬快サーバのデータを、上位バージョンに移行させるための BzSvMigration.exe が、瞬快V11.5で動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 上、特上	なし	
Ver.11.5b	動作環境	サポートOS追加	次のOSをサポート対象として追加しました。 Windows 10 Enterprise 2016 LTSB Windows Server 2016	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	ー	
	システムリカバリ	機能追加	2016年度下期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	ー	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	クライアント	機能追加	瞬間復元の簡単設定にて、ジャストシステムの ATOK 2016 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	ー	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがをインストールするPCにおいて、デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっていることを見落として修復モードへ変更してしまうと、OS環境に異常が生じる。	デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっている状態では、修復モードへの変更指示を受け付けないようにしました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっている状態で修復モードへの変更は行わないでください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイル・フォルダ単位の修復モードでインストールされたPCでは、Windows8.1のフォトアプリにおいて、カメラで写真を撮影したり、外部媒体から画像のインポートを実行したりしても、その画像が表示されない。 また、ストアアプリの YouCam Mobile for FUJITSU でも、撮影した写真が表示されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	修復モードに切り替えを行う前に、ユーザープロファイルが存在する場合は画像が表示されますが、修復モードに切り替えた後に、ユーザープロファイルが作成される場合は、画像は表示されません。

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	修復モードの状態で6ヶ月以上が経過すると、通知領域のアイコンが正常に表示されなかったりクリックしても反応しない状況となる。	暫定対処として、修復モードへ切り替える際に、レジストリにキャッシュされている通知領域アイコンの情報をクリアするようにしました。 本対応により通知領域アイコンをカスタマイズしても修復モードに切り替えると初期値に戻ります。 通知領域アイコンをカスタマイズしたい場合はサポートセンターまでお問い合わせください。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	本製品DVDの以下のフォルダ内にあるスクリプト使ってキャッシュをクリアしてください。 Tool¥Scripts¥DeleteIconStreams 使用方法是フォルダ内のReadme.txtを参照ください。	
	瞬間復元ドライバ	Symantec Endpoint Protection(SEP)がインストールされた次の環境の場合、瞬快クライアントをファイル・フォルダ単位の修復モードにすると、SEPのサービスが起動しない。 ・KB3172985 または KB3163018 の更新が適用されている 32bit の Windows10 ・KB3170377 または KB3172614 の更新が適用されている 32bit の Windows8.1	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	修復モード中にI/Oエラーを検知すると瞬間復元ドライバ(skfl.sys)はエラーログをディスクのLBA33に書込む。 MBRディスクのLBA33は未使用領域であるが、GPTディスクのLBA33はパーティションテーブルとして使用されており、パーティション125～128の情報が書き込まれる。 LBA33にエラーログが書き込まれると、次回起動時よりパーティションテーブル異常と判定し、ディスク異常と通知される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	修復モードへの切り替え時にはディスク先頭領域をバックアップしており、修復無効モードへの切り替え時にはこれをリストアしますので、通常であればLBA33のエラーログは残りません。	
	システムリカバリクライアントインストール	システムリカバリクライアントの、新規インストールや版数アップの処理が失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	なし	
	クライアント	有線LANと無線LANの両方を搭載したPCに、瞬快クライアント機能をインストールした場合、有線LANを無効にしなければ無線LANの情報が瞬快サーバに通知されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	スケジューラ機能を使って、クライアントPCへ指示を出しても、指示通りに動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	64bit の Windows7 に瞬快クライアントをサイレントインストールする際、SHA-2証明書に対応している更新プログラムが適用されているにもかかわらず、インストールが中断されてしまう。	サイレントインストールを行う場合は、SHA-2証明書に対応した環境かどうかを判定するための更新プログラム(KB3033929)の適用確認を行わないようにしました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	Windows7 x64に瞬快クライアントをインストールする場合、2015年4月以降の更新プログラムを必ず適用するようにしてください。
	クライアントインストール	1台のPCへ、瞬快コンソール、瞬快クライアントの順にインストールを行うと、リモート画面操作機能の画面転送を受信できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	瞬快クライアント、瞬快コンソールの順にインストールを行ってください。	
	クライアントインストール	システムリカバリの[ディスクイメージ配信]もしくは[Windows環境の設定]の処理において、Windows 8.1に対して瞬快クライアントのサイレントインストールを行うと失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	なし	Windows 8.1以外のOSでは発生しません。
	システムリカバリ	システムリカバリコンソール起動時に、次のエラーが発生する場合がある。 ・SRO00095 設定ファイルの読み込みに失敗しました。環境をご確認ください。 ・SRO05123 環境設定ファイルの取得に失敗しました。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリサーバを再起動せずに長期間利用し続けると、システムリカバリサーバのデータベースが肥大化する。 これにより、イメージ配信等のサービス実行時に、「リクエストの開始命令の発行に失敗したか、サービスのパラメータエラーが発生しました。」というエラーが発生し、サービスが実行できなくなる場合がある。	システムリカバリサーバのデータベースサイズが閾値を超えた場合に、通知メッセージを表示させるようにプログラムを改修しました。 システムリカバリコンソールを起動したときに、次のメッセージが表示された場合には、メッセージに従いサービスを再起動させて下さい。 「システムリカバリサーバのデータベースが肥大化している恐れがあります。システムリカバリコンソールを終了させてから、システムリカバリサーバのDeployment Serviceのサービスを再起動してください。」	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	定期的にシステムリカバリサーバのDeployment Serviceのサービスを再起動させてください。	
	システムリカバリ	システムリカバリのサービスの設定において、「アクティベーションが失敗した場合に処理を停止する」のチェックを外している場合、サービス実行時にアクティベーションできない場合でも処理が継続されないといけなが、アクティベーションできない場合には処理が継続せずにエラー終了してしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリコンソールを起動すると、次のエラーが発生する場合がある。 「C:¥ProgramData¥Syunkai Product¥Console¥Manage¥Sro¥client.csv へのアクセスは拒否されました。」	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	現象が発生した場合は、以下のファイルを削除して下さい。 C:¥ProgramData¥Syunkai Product¥Console¥Manage¥Sro¥client.csv	
	システムリカバリ	システムリカバリサーバと瞬快コンソールの版数が一致しない場合、システムリカバリのコンソール表示時 次のエラーが発生する。 「指定されたパラメータは正しくありません。引数が範囲外の値です。」 または、 「システムリカバリサーバとの通信が切断されました。システムリカバリ管理機能を終了し、再度起動してください。」	瞬快コンソールを起動したときに、版数チェックを行う処理を追加しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	瞬快サーバ、瞬快コンソール、システムリカバリサーバの版数は必ず一致させてください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の処理において、更新プログラムの検索や適用に長い時間を要する場合がありますことで、5時間のタイムアウト時間では処理が終了しない事例が増えている。	WindowsUpdate連携のスケジュール作成時にタイムアウト時間を延長できるようにしました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	WindowsUpdate連携処理が5時間以内で終了するよう、クライアント環境もしくはWSUSにて調整してください。	
	スケジューラ	瞬快のスケジューラ機能で、同時に多台数(100台以上)を同時実行した場合、Windowsが過負荷状態になり、スケジューラが正常動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	同時に実行する台数を少なくしてください。	
	リモート画面操作機能	スクリーンセーバーが動作している Windows 10 のクライアントPCに対して画面転送を行っても、スクリーンセーバーが解除されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
	管理機能	瞬快コンソールの機器管理の一覧にて最新情報を表示した場合、クライアントPCが電源オフであるにもかかわらず、電源オンと表示されてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.11.5c	動作環境	サポートOS追加	Creators Update 適用済みの次のOSをサポート対象として追加しました。 ・Windows 10 Pro ・Windows 10 Education ・Windows 10 Enterprise	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	－	
	瞬間復元ドライバ	Office 2013以降のボリュームライセンス製品を除く全てのMicrosoft Office製品では、Officeの自動更新が、Windowsのタスクに登録された「Office Automatic Updates」により自動的に行われるようになっているが、ファイル・フォルダ単位の修復モード中に、このタスクが動作してOfficeに更新がかかると、更新内容によってはOfficeファイルの管理情報に異常が生じ、Officeファイルが開けなくなる。	クライアント機能を新規インストール時に、タスクスケジューラに「Office Automatic Updates」が登録されていればタスクを無効化させるように修正しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	タスクスケジューラから「Office Automatic Updates」を無効にして下さい。	
	瞬間復元ドライバ	UEFI設定時のブートエントリとしての Windows Boot Manager(WBM) が複数登録されたような異常な環境において、修復モードへの切り替えを行うとPCが正常起動しなくなる場合がある。	異常なWBMをスキップするようにし、PCが正常起動されるように修正しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	複数のWBMが登録されている場合は、bcdedit.exe /delete コマンドでWBMをすべて削除した後、次のコマンドを実行し、正常なWBMを登録してください。 bcdboot.exe c:\¥Windows /L ja-jp	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用を続けていると、「ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	動作モードを修復モードへ変更した際に、次のような状態になりOSが起動しなくなる機種がある。 【レガシーブートの場合】 OS起動中の黒画面時、画面左上にてカーソルが点滅する状態になる。 【UEFIブートの場合】 OS起動中の黒画面時、画面中央に「Cannot load PreparationOfBootOS」のメッセージが表示される。	【レガシーブートの場合】 ファームウェアの問題を回避し、起動処理を止めないようにプログラムを改修しました。 【UEFIブートの場合】 ファームウェアの問題を回避する設定を可能としました。 設定方法については、サポートセンターまでお問い合わせください。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	瞬快クライアントインストール後、修復無効モードにてプリフェッチ・スーパーフェッチの設定を変更しても、修復モードにすると瞬快標準設定に戻されてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	コンソール	瞬快コンソールにおける機器一覧の表示において、IPアドレスが127.0.0.1となるPCがある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	画面補正機能が動作しないアプリケーションが存在する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	MAKを使用した Windows 10 のライセンス認証において、成功しているにもかかわらず失敗と判断する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 上、特上	なし	
Ver.11.5c+	瞬間復元ドライバ	レガシーブートのOS環境にVer.11.5cをインストールして修復モードにする場合、機種によっては、次の様な画面表示にて停止し、OS起動しなくなる。 ・黒画面にてカーソルが点滅 ・機器メーカーのロゴ画面 ・「Windows を起動しています」の画面	プログラムを改修しました	【レベル】 Ver.11.5cのみ 【グレード】 共通	なし	Ver.11.5cで既に修復モードで正常動作している場合は、Ver.11.5c+に版数アップする必要はありません。
Ver.11.5d	動作環境	サポートOS追加	Fall Creators Update 適用済みの次のOSをサポート対象として追加しました。 ・Windows 10 Pro ・Windows 10 Education ・Windows 10 Enterprise	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	－	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モードで、Windows10に搭載されている「メール」のアプリを利用すると、次のような異常な動作をする場合がある。 ・受信したメールを開くと本文が表示されずに「ダウンロードを完了できませんでした。」のエラーが発生する。 ・送信したメールが、送信相手に本文無しで届く。 ・送信したメールが「送信済みメール」フォルダに表示されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	なし	Ver.11.5c+以前を利用して既に問題が発生している場合は、Ver.11.5dに版数アップしただけでは問題は改善しません。 その場合は、版数アップ後に修復無効モードでメールアプリのアカウントを削除し、再セットアップをしてください。

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モードにするとAdobe Creative Cloud が起動できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	次のフォルダを修復対象外に設定してください。 【32ビットOS】 C:¥ProgramData¥Adobe¥SLStore¥C:¥Program Files¥CommonFiles¥Adobe¥SLCache¥C:¥Program Files¥CommonFiles¥Adobe¥OOBE¥ 【64ビットOS】 C:¥ProgramData¥Adobe¥SLStore¥C:¥Program Files (x86)¥CommonFiles¥Adobe¥SLCache¥C:¥Program Files (x86)¥CommonFiles¥Adobe¥OOBE¥	
	サーバ機能	瞬快サーバが利用しているMicrosoft SQL Server 2008 R2 Express EditionのMicrosoft社のサポート期限が2019年7月で切れる。	瞬快サーバを新規インストールした場合は、Microsoft SQL Server 2014 Expressがインストールされます。 従来の版数から瞬快サーバを版数アップした場合は、引き続きMicrosoft SQL Server 2008 R2 Express Editionが利用されます。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	なし	
	インストーラ共通	1台のPCに、瞬快クライアント、瞬快コンソールの順でインストールを行い、瞬快クライアントだけをアンインストールすると、リモート画面操作の画面転送機能が動作しない。 また、1台のPCに、瞬快コンソール、瞬快クライアントの順でインストールを行い、瞬快コンソールだけをアンインストールすると、リモート画面操作のクライアント機能が動作しない。(他のPCからのモニタリングや遠隔操作などができない)	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	瞬快クライアントまたは瞬快コンソールの機能を再インストールしてください。	
	クライアント	sha256のデジタル証明書に対応した更新プログラムがWindows 7 x64に適用されているかをチェックする処理に問題があり、正しく判断できていなかった。このため、sha256のデジタル証明書に未対応のWindows 7 x64に瞬快クライアントをインストールできてしまい、OS起動ができなくなる場合がある。	sha256のデジタル証明書に対応した更新プログラムがインストールされているかの判断ロジックを改修しました。 sha256のデジタル証明書に未対応の場合は、瞬快クライアントのインストールを中断します。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	2015年03月に公開された、KB3033929の更新プログラムを適用する、またはKB3033929の更新プログラムが含まれる累積的な更新プログラムを適用してください。	
	クライアント	Ver.11.5bでは、修復モードの状態で6ヶ月以上が経過すると通知領域アイコンに異常が生じるというOS仕様に対する暫定対策を施したが、これにより通知領域アイコンのカスタマイズができないう制限事項が生じている。 また、修復モードへの変更時にログオン中のユーザでは当暫定対策が無効となる。	レジストリにキャッシュされている通知領域アイコン情報をクリアするという暫定対策を中止し、代わりにキャッシュの有効期限を120ヶ月に変更することで、制限解除と問題解消を図りました。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能の複数PC操作のコンソールを高さ115ドット以下のサイズにした状態で終了させると、次回複数PC操作起動時にモニタリングができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	スタートメニューから複数PC操作を起動した場合、ポリシー設定を「報告IPアドレスを利用して接続する」設定にしているにも関わらず、「ネットワーク設定を利用して接続する」設定の動きをする場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	なし	
	コンソール	瞬快コンソールの設定で、「報告IPアドレスを使用する」に設定にしているにも、クライアントPCからの通知が一定期間無いと報告IPが使用されず、リモート画面操作機能がクライアントPCに接続できない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	なし	
	共通機能	メール送信機能にて smtp.gmail.com を指定できるようにしました。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5c+以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.11.5d+	リモート画面操作機能	キーボード・マウスロック処理において、特殊キー操作([Ctrl]+[Alt]+[Del]および[Win]+[L])のロックができない。 OSのシステムイベントに dckfltr.sys のエラーが記録される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5dのみ 【グレード】 共通	なし	64bit環境のみが対象です。
Ver.11.5d++	瞬間復元ドライバ	Surface Pro のブライインストール環境にて修復モードにしようとする、ディスクを暗号化していないにもかかわらず、暗号化を解除するよう指示され、修復モードに変更できない。	ファイルレコードサイズを4KBにしてフォーマットされたパーティションに対応できておらず、状況を誤認識していました。 当該フォーマット形式に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5d+以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.11.5e	動作環境	サポートOS追加	Windows 10 April 2018 Update に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	ー	
	瞬間復元ドライバ	UEFI設定のPCのクローニングにおいて、クローニング先のPCに既に瞬快クライアントが修復モードにて入っていた場合、ディスク全てのクローニングをせずにパーティションだけをクローニングすると、MBR領域に瞬快の情報が残っているため、修復モードに変更できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	事前に修復無効モードに切り替えてから、ディスクイメージを戻してください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モード時、オンラインストレージサービス DropBox のデスクトップアプリにて新規フォルダを登録すると同期エラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	なし	本対応後も、デスクトップアプリにてDropBoxフォルダを開いた状態で、WebブラウザにてDropBoxにログインしてファイル更新を行った場合、DropBoxフォルダの情報は最新状態に更新されません。 この場合、DropBoxフォルダを閉じて開きなおすと、最新状態にて表示されます。
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携機能にてUpdateサイトにWSUSを指定せず、マイクロソフト社を指定した場合、Office等のオプションパッチが適用されない場合がある。	WindowsUpdate連携機能の開始時に、Microsoftアップデートを必ず有効化(「Windowsの更新時に他のMicrosoft製品の更新プログラムも入手します。」の有効化と同意)して、Office等の更新プログラムが適用されるようにしました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	瞬快クライアントをインストールする前に、Windows Updateの設定にある「Windowsの更新時に他のMicrosoft製品の更新プログラムも入手します。」を有効化してください。	
	サーバ機能	Windowsのグループポリシー設定における[パスワードの長さ]を12文字以上に設定している場合、瞬快サーバ機能のインストールに失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	Windowsのグループポリシー設定における「パスワードの長さ」を11文字以下に設定してください。	
	システムリカバリ	システムリカバリコンソール起動時にアプリケーションエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 上、特上	なし	
	リモート画面操作機能	単一PC操作の処理中にネットワークが切断された場合、自動再接続されないため、手動での再接続操作が必要となる。	単一PC操作に、自動再接続機能を搭載しました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	ウイルスバスターコーポレートエディションのファイアウォール機能には問題があり、これが有効になっている場合は初回のUDP通信がブロックされるため、リモート画面操作でのクライアント接続に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	ウイルスバスターコーポレートエディションのファイアウォール機能を無効にしてください。	
	利用情報収集機能	PCが正常にシャットダウンされなかった場合、利用情報収集機能にて収集される稼働時間が実際の稼働時間と異なる。	稼働状況を1分間隔で監視し、強制シャットダウンされた場合でも、稼働時間の誤差が1分未満になるようにしました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集機能	選択したグループに数百台のクライアントPCが含まれている状態にて、「ソフト確認」ボタンを押しソフトウェア情報を収集すると、瞬快コンソールのアプリケーションエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5d++以前 【グレード】 共通	収集対象となるクライアントPCの台数が少なくなるようにグルーピングしてください。	